

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスささゆり				公表日	令和7年 2月 17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>開放的でフラットな空間であり、圧迫感なく過ごせる</li> <li>運動スペースと学習スペースを分けている</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が多く、見守り体制ができています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が足りないと感じることがある</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内外ともに段差をなくしている</li> <li>スケジュールボード等視覚情報を用いることで児童が見通しを持って過ごせるよう工夫している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い場の蛇口の締めりが悪い(修善)</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の清掃や整理整頓、感染予防の換気、室内温度や湿度の設定を行っている</li> <li>掃除担当が決まっており、チェック体制がある</li> <li>個別活動、小集団活動、集団活動など状況に応じて、空間を工夫して使用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間が広い分、冬場は場所によって冷える</li> <li>温度が低い</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>クールダウンができる空間を設けている</li> <li>用途に合わせて使用できるようにしている</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼や終礼時のミーティングを通して実践している</li> <li>各業務に期日を決め、誰という連携をとって進めていくのかを明確化している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日によって時間に余裕がない</li> <li>スムーズな支援や業務遂行ができない時がある</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年アンケート回収後に会議を行い、保護者の方の移行等を把握し業務改善に努めている</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>気になることがあれば朝礼や終礼時に共有している</li> <li>定期的に管理者との職員面談を実施</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>行っていないため、今後検討する</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月研修を行っている</li> <li>研修内容も豊富</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>R6.2末公表予定</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のサービス担当者会議等で事業所間での情報共有を図り、計画の作成に生かしている</li> </ul>	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が個別支援計画会議に参加し、日頃の様子を様々な視点で伝え合いながら計画の作成に携わっている</li> <li>みんなで話し合うことで客観的な評価、共通理解とともに、こどもの最善の利益を考慮する検討につなげている</li> </ul>	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>前項のように、話し合いで出た意見を支援に生かすようにしている</li> <li>サービス提供記録では、計画に沿った支援(具体的な達成目標)に対して日々評価を行っている</li> </ul>	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>前項のようにサービス提供記録の際、個別支援計画の5領域にそって評価し、記録することで確認や実践につながっている</li> </ul>	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>5領域になったことで、より具体的に各々の特性について考えている</li> <li>個別支援計画会議を通して、みんなで話し合っって長期・短期目標、具体的な達成目標を決めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家族支援」「移行支援」「地域支援」「地域連携」について、具体的な支援内容となっているか不安がある</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼時に集団活動も立案、共有、確認等を行っている</li> <li>イベント会議でみんなが意見を出し合い立案している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者同士で意見の出し合い、連携が足りない時がある</li> <li>相談など発信が少ない</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>担当をローテーションすることで活動内容やねらいに変化を持たせている</li> <li>児童の特性やメンバーによって工夫している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者の中だけで完結し、振り返りがないことがある</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の特性に応じて小集団活動を行うとともに、活動を通して何をねらいとするか考えている</li> <li>高学年と低学年で活動を分けている</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者が中心となって朝礼時等で打ち合わせを行い、連携して支援を行うようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせができない時がある</li> <li>リスク等のイメージが持てず、予定と違った状況への対応ができないことがある</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>終礼時に振り返りを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせは行っているが、振り返りができていないことがある</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務日報で記録している</li> <li>必要に応じて申し送りに記載し共有している</li> <li>上手くいった（意図的に行った）支援を伝え合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終礼時の振り返りの際、意見が出てても具体的な検証や改善につなげていないことがある</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで日頃の様子を伝え合った上で計画の見直しを行っている</li> <li>本人の成長やストレスにも目を向けるようにしている</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日のプログラム（個別活動、集団活動など）を通して実践している</li> <li>児童の特性に沿って環境を整えるなど、活動やイベントにしっかりと向き合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ガイドライン」「4つの基本活動」をしっかりと把握しきれていない</li> </ul>
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自分の力で問題解決できるよう必要に応じた介入を心掛けている</li> <li>集団活動の参加について、見通しの持てる支援や動機付けを行いながら、無理強いはせず自己選択する機会としている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どういった場面が「自己選択できる」支援に該当するか考える必要がある</li> <li>苦手な思いから「しない」こともあり「自己選択」「自己決定」の線引きが難しい</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>児発管や管理者が中心となって参画している</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀市の障がい福祉課、障害者相談支援センター、各学校等と連携がとれている</li> <li>定期的に利用報告書を作成し共有している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携や情報共有には難しい部分を感じることもある</li> <li>地域の保健や医療とは直接的に連携がとれていない</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から連携を図り情報共有している</li> <li>当日の送迎トラブルについても連絡調整している</li> <li>毎朝、下校時間の確認を行っている</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に保護者の了承を得て、保育所等と情報共有している</li> <li>時には、保育所等へ伺い話を聞いたり、様子を見るなど情報を求めるようにしている</li> </ul>	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、該当する児童がいないが、必要に応じて情報提供できるよう備えている</li> </ul>	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>研修等の機会があれば積極的に参加するようにしている</li> </ul>	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域主催の「ひだまりサロン」の他、「ゲートボール」を主催し地域の方や児童と交流する機会を作っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学童などの他施設との交流が持てていない</li> </ul>	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		・参加できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・緊急性のあることだけでなく、日頃と違うこと、事業所内での出来事など必要に応じて、その都度伝えるようにしている ・HUGを通してその日の様子や活動風景(写真)を見てもらえるよう呼びかけている ・送迎時や保護者対応時に伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・「おしゃべりサロン」「親子ふれあい運動会」等を主催し、保護者同士の交流、保護者支援の機会を作っている ・来年度から「ペアレントトレーニング」を定期的実施していく予定	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時だけでなく、日頃から分かりやすく、丁寧な説明を心掛けている ・今年度は法改正があり、口頭だけでなく、通信等で周知した	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・利用計画案を基に、日頃の児童の様子や保護者とのやり取り、定期的なモニタリングを通して、児童や家族の意向を確認するようにしている	・保護者の思いと児童の思いに差があり、難しさを感じることもある
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・作成した計画内容をしっかりと読み上げ、意向に沿っているか確認している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・送迎時保護者対応時だけでなく、LINEや連絡帳、電話、モニタリングを通して相談を受けている ・日頃からなんでも話せる雰囲気作りを心掛けている	・適切な助言や支援となっているか不安な時がある
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7		・「おしゃべりサロン」「親子ふれあい運動会」等を主催し、保護者同士の交流、保護者支援の機会を作っている ・参加しやすい企画や雰囲気作りを工夫している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・日頃から迅速で丁寧な対応を心掛けている ・その都度、管理者や児発管に報告し対応している ・報告書を作成し、職員へ周知するようにしている	・保護者が納得、理解してもらえる対応ができないことがある
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・日頃から「ささゆり通信」「イベントカレンダー」等を発信し、必要に応じて「お知らせ」「お願い」を発信している	・ホームページやSNS等の活用力が低い
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報マニュアルの作成とともに、定期的に研修を行い意識を高めている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・LINEや電話、連絡帳等保護者によって連携の取りやすい方法でのやり取りを心掛けている	・発語がない児童とのやり取りに難しさを感じる ・保護者とのやり取りでこちらからの連絡が一方通行になってしまったり、返事がないことがある ・直接のやり取りが一番いいが、LINE等の文章の表現によっては誤解を招いてしまうことがある
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・地域の行事等には積極的に参加しているが、招待することはできていない ・個人情報やリスク管理等を考えると難しさを感じる
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・定期的に各種マニュアル研修および訓練を行い、必要に応じて見直しを行っている ・防犯については警察署の方を呼んで一緒に訓練を行い、助言を受けるようにしている ・契約時などに説明し、周知を心掛けている	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的避難訓練、BCP研修を行っている</li> <li>地震や火災については、起震車を呼び、消防署の方も呼んで一緒に訓練を行い、助言を受けるようにしている</li> </ul>	様々な状況下を想定した訓練を行う必要がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者からの情報提供が中心であるが、病院受診、服薬の変更など定期的に確認している</li> <li>与薬が必要な場合は、事前に医師の指示書に変わる与薬票を記入してもらうとともに、服薬後の袋を確認のため保護者に渡すようにしている</li> </ul>	児童の状況を全職員が把握しているかと言え、課題を感じる
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、該当児童がいないが、マニュアルを作成し備えている</li> <li>契約時だけでなく、定期的に健康調査票を通して保護者から情報提供を受けている</li> </ul>	児童の状況を全職員が把握しているかと言え、課題を感じる
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に安全管理マニュアル研修を行い、必要に応じて見直しを行っている</li> </ul>	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時などに説明し、周知を心掛けている</li> </ul>	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハット報告書を作成し、職員への周知だけでなく再発防止についても検討している</li> <li>何気ないことでも朝礼時や終礼時に情報共有し、リスクマネジメントを行っている</li> </ul>	振り返りにおいて、具体的な再発防止への支援や環境作りに至らないことがある
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に虐待防止研修を行っている</li> <li>朝礼時や終礼時など日頃から支援における難しさや課題、疑問点など話し合うようにしている</li> </ul>	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、該当児童がおらず、身体拘束の必要性ではなく、支援をどのように工夫していくか前項のように話し合っている</li> <li>身体拘束について掲示し、啓発につなげている</li> </ul>	児童間でのトラブルの際、手を出してしまう児童への対応に難しさを感じる